

伝統文化の和

女流義太夫公演会

女流義太夫・竹本土佐子師をお迎えし
その卓越した語りと三味線が織りなす
義太夫節の真髄を鑑賞していただきます。

6/7
[日]

写真：福田知弘

2026年6月7日(日) 13時30分～15時(13時開場)

会場＝徳島城博物館和室

定員＝50人(先着)

申込方法＝電話で「女流義太夫公演会参加希望」の上、名前、電話番号を徳島城博物館までお伝えください。

参加費＝無料(ただし入館料が必要)

春の特別展「蜂須賀十五代 一武の伝統と心の継承」期間中のため
大人500円 高・大生300円 小・中学生無料 ※20名以上の団体は2割引)

お問い合わせ／徳島城博物館 TEL.088-656-2525

徳島市 徳島城博物館



主催◎徳島城博物館

共催◎鶴澤友輔後援会

〒770-0851 徳島市徳島町城内1番地の8 (徳島中央公園内)
TEL (088) 656-2525 FAX (088) 656-2466
<http://www.city.tokushima.tokushima.jp/johaku/>

徳島城博物館公式Xで情報発信中! | 徳島城博物館 X 検索

菅原伝授手習鑑 寺子屋の段

(前)

浄瑠璃

竹本

友代

三味線

鶴澤

友輔

(後)

浄瑠璃

竹本土佐子

三味線

鶴澤津賀花

演目解説

延享三年(一七四六)八月、竹本座にて初演。作者は竹田出雲・三好松洛・並木千柳・竹田小出雲らによる合作。

当時話題となった三つ子誕生の逸話などを取り入れ、菅原道真(菅丞相)の太宰府流罪を題材に描かれている。

あらすじ

政敵の藤原時平の讒言により、太宰府へ流罪となった菅丞相。その家臣である武部源蔵は、妻・戸浪とともに寺子屋を営みながら、主の子・菅秀才を密かに匿っている。しかし、その事実が時平方に知られ、菅秀才の首を差し出すよう命じられる。

追い詰められた源蔵は、その日入門したばかりの小太郎の首を、やむなく身替りとして差し出す。検分役として現れた松王丸は、その首を菅秀才のものとして認めて持ち帰り、源蔵夫婦はひとまず安堵する。

ところがその直後、小太郎の母・千代が子を迎えに現れる。悲しみを押し殺しながらも、主君への忠義を貫こうとする源蔵。そこへ再び現れた松王丸は、すべての事情を明かす。

実は小太郎は、松王丸自身の子であり、主家のためにわが子を身替りとしたのであった。

たけもととさこ
竹本土佐子



竹本土佐子

神奈川県出身 厚木市在住

昭和三年 神奈川県出身 厚木市在住
昭和八年 竹本土佐尾に入門。
昭和九年 竹本土佐子となる。
昭和二十一年 二代目竹本綾之助に師事、預かり弟子となる。
昭和二十二年 竹本土佐広に入門。
平成二年 重要無形文化財「義太夫節」縦台認定保持者に認定。
平成七年 豊竹嶋太夫の門人となる。
平成十四年 旭日双光章受章。
平成十五年 厚木市民文化賞受賞。(一社)義太夫協合理事。

たけもと
竹本 友代



竹本 友代

徳島県出身 兵庫県姫路市在住

幼少より義太夫節浄瑠璃を竹本島之助に師事。
昭和二年 城北高校民芸部の設立時鳴門高校より城北高校へ転入。
昭和五年 十代豊竹若太夫の勧めで因会に入会。
平成三年 人間国宝、鶴澤友路師匠に入門。
平成九年 竹本友代を拜命。
平成三年 城北会創立会員。
平成三〇年 七月重要無形文化財義太夫節の保持者として認定される。
令和四年 文化庁長官賞受賞。

つるざわつかはな
鶴澤津賀花



鶴澤津賀花

福井県出身 神奈川県横浜須賀町在住

平成一〇年 人間国宝竹本駒之助に入門。
平成一三年 国立演芸場にて初舞台。
平成一八年 文化庁新進芸術家国内研修員として六代鶴澤燕三に師事。
平成一九年 文化庁芸術団体人材育成支援事業研修員。
平成二一年 日本伝統文化振興財団第10回「邦楽技能者オーディション」合格。
平成三年 第24回清泉会奨励賞受賞。
平成一九年 第38回松尾芸能賞新人賞受賞。

つるざわ
鶴澤 友輔



鶴澤 友輔

徳島県出身

平成一〇年 人間国宝鶴澤友路に師事。
平成一八年 阿波文化創造賞受賞。
平成一九年 第22回国民文化祭で瀬戸内寂聴の新作浄瑠璃「モラエス恋遍路」
「義経街道娘恋鏡」を作曲・演奏。
平成二二年 四国遍路を世界遺産に：応援曲「夢・空海」を発表。
平成二四年 第27回国民文化祭で新作「阿波の心」作曲・演奏。
令和元年 モラエス賞特別賞受賞。
令和八年 とくしま芸術文化賞受賞。